

## 平成 30 年度 支援教育部の支援計画

支援教育部

## (1) 生徒支援

時期	名称	対象者・内容	
入学前	入学前相談	希望者 学校生活での配慮・障害特性など	
在 学 時	全 生	ソーシャル・スキル・トレーニング (SST) 月目標掲示	生徒全員に対し、月目標の達成を呼びかけ
	徒	教育相談週間 (年 2 回) 5/7~11、11/14~20 (45 分授業)	担任が学級の生徒全員と面談 →必要に応じ、職員は情報共有
		総合的な学習の時間 「心を耕す」	支援教育部が資料提供 年次の担当者が授業実施
		Hyper-QU	学校適応感の調査
	一 部 生	自立・就労相談会 (年 3 回) 6 月、9 月、12 月	希望者 学校適応促進・進路相談・就業体験など
	徒	スクールカウンセラーとの面談	希望者
		医療機関への情報提供	該当者 学校生活の様子について情報提供
		外部機関との連携	希望者・該当者 児童相談所、警察、市町村役場、相談事業所等
		問題行動発生時の生徒支援	該当者 障害特性に配慮した支援、再発防止策等
		教育相談 (随時)	希望者
	卒業時	福祉機関への引き継ぎ	該当者

## (2) 保護者支援

入学前相談	希望者
自立・就労相談会	希望者
スクールカウンセラーとの面談 (週 2 回)	希望者
保護者座談会	自立・就労相談会参加者のうち、希望者

(3) 職員対象

啓発活動	学習のユニバーサルデザイン (UDL) 月目標掲示 ※全職員が取り組む。
情報共有	生徒理解の会 (年3回) 4/5、6/20、10/4 (45分授業) ※生徒全員の情報を全職員が共有
	Hyper-QU (学校適応感の調査) ※特に要支援群の生徒を情報共有
職員研修	第1回特別支援教育職員研修会…担当：支援教育部職員 第2回特別支援教育職員研修会…外部講師 事例検討会…講師： <u>スクールカウンセラー</u> ケース会議…アドバイザー：相談支援事業所
資料提供	障がいの理解 Hyper-QUによる学級経営 学習のユニバーサルデザイン (UDL) ソーシャル・スキル・トレーニング (SST) アサーション など

(4) 外部機関との連携

中学校訪問	入試後、合格者の出身中学校から情報収集 (中・高連携シート)
自立・就労相談会	学校適応や卒業後の進路選択について、外部機関も出席し相談 生徒の住む地域の相談支援事業所 障がい者就業・生活支援センターこしじ 市町村役場 等
就業体験	卒業後、福祉作業所での職業訓練を希望する生徒への支援 障がい者就業・生活支援センターこしじ及び地域相談支援事業所 コーディネート・就業体験先訪問および評価・卒業後の情報提供等
保護者座談会	自立・就労相談会参加保護者を対象に座談会を実施 アドバイザー：障がい者就業・生活支援センターこしじ 長岡療育園等地域の相談支援事業所・活性化相談員
ケース会議	困難なケースについて、学校職員および外部機関で事例検討 障がい者就業・生活支援センターこしじ 生徒の住む地域の相談支援事業所
自立・就労支援のための専門機関との連携会議	就業体験や相談会など、外部機関と学校の連携のあり方について協議 中越圏域障がい者就業・生活支援センターこしじ 県央圏域障がい者就業・生活支援センターハート 中越圏域障がい者地域生活支援センター長岡療育園 ・茨内地域生活支援センター・相談支援センターハート 柏崎市役所・長岡市役所・三条市役所・燕市役所・弥彦村役場等 ハローワーク柏崎・ハローワーク長岡等

